

ふらっと通信



発行:南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」 (TEL 0470-57-3000)
 企画編集:地域づくり支援員(三橋・原) (FAX 0470-57-3002)
 〒299-2292 南房総市久枝327番地(南房総市富山地域センター内)
 メールアドレス:tomy_furatt@yahoo.co.jp

第40号

今回の防災講座は、日赤奉仕団と連携して、救急法(三角巾の使用方法など)やロープワークなどをを行います。また、非常用の炊飯袋を使った炊き出しと試食をしていただきます。そして非常持ち出し袋の展示を行い、どのようなも

非常持ち出し袋の点検を!



持ち出し袋は自分が持ち歩ける重さに、男性10キロ女性5キロまで



救急用品は三角巾・包帯・消毒ガーゼなど必要最小限に

「ふらっと」では、12月1日に富山公民館で防災講座を開催します。これは、地域住民の防災意識の向上と、災害に強いまちづくりを進める目的で行われるもので、岩井地区を対象に9時30分から12時まで日赤奉仕団による救急法やロープワークなどを行います。ぜひ、お気軽に参加してください。

災害時には自分の身は自分で守る 12月1日(日)に防災講座を開催!



(好評だった、昨年のおんどうりさんの防災講座)

12月1日に福祉フォーラムが 平群体育館で行われます

平群地区社会福祉協議会主催で、午前10時から地域福祉フォーラムが平群体育館で行われます。AEDの講習会やお楽しみ交流会などがあります。

問合せは社会福祉協議会
富山地域福祉センターへ
☎57-2926

富山のことをもっとよく知ろう 平成25年11・12月の行事

日	時間	行事名	主な内容	場所	主催
11/23	9:00~	第8回皆で岩井の浜をきれいにしよう	海岸のゴミ収集	岩井海岸中央ステージ集合	観光協会 岩井支部
12/7	10:00~	第27回ふせひめスポーツ少年団駅伝交流大会	南房総市・鋸南町スポーツ少年団による駅伝大会	平群運動場 スタート	富山スポーツクラブふせひめ
12/15	10:00~	天満神社で餅つき大会	市部区以外の方も大歓迎です 参加費100円(もち米代)	市部観音山	市部ボランティアチーム

南房総みんなネット 検索

「存じますか、こんな活動」

今月は「富山フォト同好会」を紹介いたします。

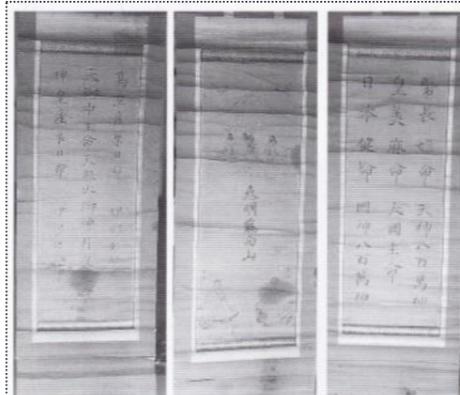
富山フォト同好会(吉野正子代表)は、平成5年に発足し、現在8名の会員が撮影技術の向上を目指して活動しています。活動は、富山の四季の姿や、会員それぞれが旅行先で撮ったベストショットなどの作品を、偶数月に富樂里や富山中学校に展示しています。また毎年、館山の南総文化ホールで



(文化協会富山支部文化祭の展示場所前)

わがふるさと富山③

今月は、荒川浅間サマの富士講です。荒川奥集落では、今でも講中十一名の入道によって、富士講が開かれています。毎年四月十日頃に当番が餅をつき、護符として山の頂の浅間サマに供え、ふもとの集会所で三幅の掛け軸を囲んで、講の集まりが行われていきます。全国的にみても富士講を続けている所はごくわずかになったといえます。三幅の掛け軸のうち、中央にかかげる軸には真ん中に「参明藤開山」と書かれています。参とは三尊を示す字で、明藤開山と「明らかに藤(富士を開く)」と言う意味、富士



(三幅の掛け軸)

信仰の一派を築いたことを指しています。その下に右側が角行(かくぎよう)、左側が食行(じきぎよう)

と云う二人の行者の像が描かれていきます。角行は戦国時代の行者で、富士への信仰を具体的な教養として最初にまとめ、富士講の基本を作り直しました。食行は食行身祿(じきぎようみろく)と言い江戸時代中期の行者で、角行の教えに正直や慈悲と言った道徳を新たに加えました。身祿の没後、江戸を中心として富士講が結成され、やがて関東一円に広がるほど大流行しました。今も荒川浅間大神で行われる富士講(山水講)はその一派です。

富士(センゲンサマ)信仰の歴史 (その三) 「ふるさと富山から」

11月3日、久枝区役所で岩井川親水公園防護柵のペンキ塗りを行いました。今回のペンキ塗りは、平成23年度に親水公園の堆積物や、遊歩道に張り出した枝払いが完了したことをきっかけに、24年度から市部区と一緒に行っています。



(ていねいにペンキ塗りをする久枝区役員)

葵の園で秋祭り

台風一過の10月17日、久枝の葵の園・南房総で秋祭りが行われ、利用者とその家族が秋のひとときを過ごしました。



(職員と一緒にレクリア体操)

◆伏姫と八房のたわ言◆

子どもの頃、長い布を一枚の板に貼ったものを、庭でよく見かけました。大人になってそれが「洗い張り」と言うことを知りました。洗い張りとは、着物の糸をほどいて洗い、のりをつけ張り板に張ることです。着物を縫い付けたまま丸洗いせず、一枚の布にして洗い、もう一度着物に仕立て直すものなのです。そうすることによって、着物を生返らせることができます。着物が着ない現在では、洗い張りの言葉さえ消えていくことでしょう。地域づくり支援員

